

授業改善プラン（第6学年）

目指す児童像	自分の考えを持ち、進んで自分の言葉で伝え合う児童	
教科	課題（児童の実態）	具体的な改善プラン・言語活動の工夫
国語	・事前に準備をすれば話すことができるが、その場で自分の考えをまとめて話すことができない。話を最後まで聞くことができない。	・発表メモを活用し、自信をもってスピーチができるようにする。 ・話すポイント、聞くポイントを活用し、話しての意図を捉えながら聞く力を養う。
社会	・基礎基本的な知識が身につけていないため、自分の考えをもつことができない。	・グループ検討の時間を設け、考えを伝え合い、自信をもてるようにする。資料を多く活用し、自分の考えをもつことができるようにする。
算数	・基礎基本は身につけているが、自分の考えを進んで伝えようとする児童が少ない。	・答えよりも考え方に重点をおき、自分の言葉で説明やまとめを書かせ、発表させるようにする。
理科	・興味関心は高いが、知識の定着がまだ十分でない。	・問題解決学習を展開し、主体的に取り組めるようにする。その中で、知識を確実に得て、自らの考えを深めることができるようにする。
音楽	・歌うことが好きであるが、表現の豊かさに足りないところがある。	・歌詞の内容や曲想を生かした豊かな表現となるよう、歌詞を読み込み、思いや意図をもって歌うようにする。
図工	・制作活動は好きだが、自己肯定感が低く、自分の思いを深められず発想や工夫が広がらない児童がいる。	○制作の過程や、道具や材料の基本的な使い方について、視覚的にわかりやすくする。 ○作品を見る時間を設定し、客観的に見ることで自分の表現方法も友だちの表現方法も認められるようにさせる。
体育	・自分の課題を把握して取り組んでいる児童が少ない。	・学習カード等を活用し、毎回自分のめあてをもって取り組むことができるようにする。 ・グループでの活動を多く取り入れ、教え合いができるようにする。
家庭	・基本的な技能が身につけていない児童が多い。	・実物投影機等 I C T 機器を活用し、視覚的・体感的に理解できるようにする。 ・経験を多く積ませる。
日常での取り組み	・全体の前での発表の声が小さい。	・全体の前で話すことへ抵抗をなくすために、簡単な内容での一人ずつの発表の機会や、子どもたちが関心をもっていることについて話す機会を多く設け、話すことに自信をもたせる。